

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	山梨県	市町村名	大月市
プロジェクト名	職員の意識改革プロジェクト（定数削減に伴う職員づくり、組織づくり）		新規・継続の区分 継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>（目的、概要）職員の意識改革を進め、職員のやる気を生かせる組織づくりを行うため、職員研修制度を充実させ、更に「目標管理制度」を導入して、「人事評価」につなげることが必要である。 そのため本市の機構改革は、将来（平成26年度）の行政職員250人体制を目標に、縦割り行政を見直し、効率的・効果的な組織づくりを進める。 また、徹底した事業の見直しや構造改革を進め、行財政の効率的運用を図ることによって自立した自治体を目指す。</p> <p>（具体的な成果目標）目標年次：平成23年度 構造改革の推進 ・職員提案の行政課題を市政運営に生かすための採用件数【H23まで 毎年5件】 ・世代のバランスや事務の専門性を考慮した行政職員数【H17 314人 H23 250人】 行政経営のための研修制度の充実 ・全職員に対する職員研修参加者の割合【H17 30% H23 50%】 目標管理制度の推進 ・少数精鋭の職員体制を構築するための人事評価制度の導入【H23までに導入】</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度～（平成23年度）	政策分野の分類 （～）	地域経営改革プロジェクト
住民への公表の方法（ホームページアドレス等）	市ホームページ（ http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/data/32/01.html ）		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 （単位：千円） （うちH21事業費）	
構造改革推進事業	構造改革として、まず行政職員250人体制（平成26年度）を目標に、組織の簡素化による意思決定の迅速化や、企画立案機能の強化及び課内職員の流動体制の確立を目指す。	37,942	
	さらに、市民にわかりやすく利便性の高い「市民サービス組織」の構築や、民間委託及び指定管理者制度等の導入による行政コストの削減を図り、市民サービスの向上を目指す。 そのための一方策として、広く職員から提案を求めることにより、職員の創造力、研究心及び市政運営への参加意欲を高める。	5,696	
行政経営のための研修制度の充実事業	民間経営の考え方を行政運営に当てはめるNPM理論に沿った「顧客志向」、「市民志向」を認識し、市民の目線に立った行政運営を行うため、実践を意識した政策能力向上のための実務研修や、民間企業から講師を招くなど研修制度の充実を図る。	946	
		450	
目標管理制度の推進事業	職員の意識改革の観点に立ち、職員個人が自律的に目標を設定し、その目標達成のために努力することを通じて成長するとともに、市全体の目標を意識した目標設定を行うことで、自治体としての成果を向上させる「目標管理制度」を導入し、「人事評価」につなげることが必要である。	2,500	
		0	
総 計		41,388	
		6,146	
その他特記事項			
本市は、合併特例法の期限内での合併を見送り、平成17年3月に「大月市自立計画」を策定し、経営の考え方を行政運営に導入し、「成果志向」、「改革志向」、「協働志向」の徹底を図る。事業完了年度未定（事業費は平成21年度まで）			